

一般質問

～10人の議員が市政を問う～

※ 一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

P 8 安力川 信之 議員

- DX戦略について
- 災害への備えについて
- 終末期の取組

P 8 加藤 幸子 議員

- 市政を問う
 - 1 森林法違反について
 - 2 農地法違反について
 - 3 旧おふくろ亭又貸し問題について
 - 4 職員の意識改革について

P 9 後藤 弘一 議員

- 渋川市のSDGsについて
 - 1 貧困をなくそう（目標1）
 - 2 飢餓をゼロに（目標2）
 - 3 すべての人に健康と福祉を（目標3）
 - 4 陸の豊かさを守ろう（目標15）

P 9 茂木 弘伸 議員

- 公民館の整備方針について
- 本庁舎の建て替えについて

P 10 中澤 広行 議員

- 農業政策
- 道路政策

P 10 角田 喜和 議員

- 水道事業について
- 渋川市デジタル化（DX）について
- 環境対策について

P 11 山内 崇仁 議員

- 幼稚園の今後について
- 空き家対策

P 11 田村 なつ江 議員

- 北橘地区デマンドバス
- コロナ禍での健康づくり
- 若者の移住について
- 国保あかぎ診療所

P 12 須田 勝 議員

- 安心して暮らせる渋川
 - 1 敷島駅前再生
 - 2 自治会の在り方
 - 3 道路行政
 - 4 職員改革

P 12 板倉 正和 議員

- 過疎地域持続的発展について
- 身近な生活道路の整備について

一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。渋川市議会ホームページからご覧いただけます。



安力川信之

安心・安全のための備えを

DX戦略の備えを

質問 今秋からマイナンバーカードを利用して住民票などのコンビニ交付が始まる。本市としてクラウド型被災者支援システム導入や電子地域通貨などの取り組みを。業務が効率化されることで、もっと市民に寄り添える職員配置を。

危機管理監 被災者支援業務の1層の効率化が期待されるため、導入を含め研究してまいります。

市長戦略部長 地域経済の好循環化を目的に電子地域通貨導入に向けた取り組みを積極的に進めます。**市長** デジタル化による業務効率化を図り、市民に寄り添うサービスへ職員の配置を進めていきます。

災害の備えを

質問 避難所でトイレが大きな問題になる。すぐに駆け付けられるトイレトレーラーの導入を。現在14の自治体でトイレトレーラーが導入され、相互協力を行っている。**危機管理監** 避難者の健康や避難所の衛生的な環境を確保する上で、トイレは大変重要と考えますが、

トイレトレーラーについては、維持管理等の課題もあることから、今後研究してまいります。

終末期の備えを

質問 訪問診療を受けていない在宅での延命を望まない方へ、医師などの協力体制を構築して看取り支援を。

福祉部長 看取り支援の体制構築には関係機関との連携及び調整が必要となりますので、医師会等に意見を伺います。また、終末医療の重要性における周知・啓発に取り組みます。



お悔やみなどの手続きが1カ所のできるワンストップサービスコーナー



加藤 幸子

市政を問う

森林法違反について

質問 市議が関わる北橋町赤城山地区の無届伐採について、市は違法状態は続いていないと以前答弁しているが、市長の考えは。

市長 硯石の無断掘り起こし、無届伐採による森林法違反など数々の違法行為を繰り返していることは看過できない重大な問題です。

質問 掘り起こされた硯石を元の状態に戻すことを求める請願が採択されたが、その後の市の対応は。

市長 現状回復を求めています。まだ実行されていません。議会ですら採択された請願を強く求め、引き続き現状回復を強く求めます。

農地法違反について

質問 新聞報道された議長の大規模な農地法違反を長期間発見できなかったのはなぜか。また、市税のさかのぼりは何年か。

農業委員会事務局長 本人が農地転用申請をせず、農業委員会の農地利用状況調査でも発見できませんでした。今後対策を検討します。**総務部長** 賦課されていないもの

が発見された場合の修正は地方税法の規定により最長5年です。

旧おふる亭又貸し問題

質問 NPOふるさと勢多郡・友の会との土地の賃貸借契約が今年の3月で終了となる。契約の更新を行うのか。長い間放置されている建物は今後どうするのか。

総務部長 令和4年4月以降の土地賃貸借契約は締結せず、3月末をもって契約は終了とします。

市長 補助金を交付し、市有地に建設され、公共性があることから所有者と調整してまいります。



一般質問



後藤 弘一

渋川市のSDGs

貧困をなくそう(目標1)

飢餓をゼロに(目標2)

すべての人に健康と福祉を(目標3)

3)

質問 3つの目標に注目し、本市の困っている子どもの貧困問題の解決を考えるに当たり、まず、貧困家庭とはどういう状態をいうのか。

福祉部長 食材や衣服が買えないなどの経済的困窮が、子どもの生活習慣や学習環境を悪化させている場合があります。
質問 貧困家庭の発見はどのように行っているのか。

福祉部長 家庭児童相談室や保健センターに寄せられる相談、学校での子どもの身なりや行動の変化などが発見のきっかけとなります。
質問 貧困家庭の子どものために、どのような支援が行われているのか。
福祉部長 親の就労支援、学用品費用支給、子どもの学習支援など、各機関が連携して支援しています。
教育部長 経済的理由により就学困難と認められる家庭に、就学援

助費の支給等を行っています。

陸の豊かさを守ろう(目標15)

質問 遊休農地に対する具体的な取り組みは。

産業観光部長 農地利用状況調査と所有者等への意向の確認・指導などにより、耕作の再開及び農地復元に取り組んでおります。

質問 遊休農地に対する施策の実績と課題は。

産業観光部長 6・8haの農地利用調整や遊休農地14・4aを解消しました。課題は多様な担い手の確保や効果的な鳥獣被害対策です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs17の目標(国連広報センターから)



茂木 弘伸

豊秋公民館の今後の方針と

新庁舎建設について

公民館の整備方針について

質問 過去の質問で市長から豊秋公民館は建て替えを含めて検討すると答弁があったが、検討状況は。

教育部長 長寿命化計画や総合計画に位置付け、古巻公民館の整備状況を踏まえながら、具体的な検討を進めるとしています。

質問 豊秋公民館は市内で最も古い公民館。利用者の安全安心のため、建て替えを含めて早期事業化を望むが、考えは。

市長 豊秋地区の拠点として承知しています。持続可能な財政と公共施設の維持を上手く調整しながら進めたいと考えます。

質問 子持行政センターの子持公民館移転事業の進捗よく状況は。

総務部長 渋川市公共施設等総合管理計画に基づき、周辺整備を行いつつ、計画的に進めています。

質問 本庁舎の建て替えについて
質問 国や県との庁舎複合化に向けたプロジェクトチームの設置と協議状況は。
総務部長 スケジュールや手法等



新設が待たれる豊秋公民館

の方向性が定まった段階で、プロジェクトチームの設置を進めます。
質問 庁舎の建設場所とスケジュールや財源は。

総務部長 立地適正化計画等を踏まえ建設場所の検討を進め、令和11年度前後の建設工事着手を想定しています。財源は地域振興基金と庁舎建設基金を見込んでいます。

質問 庁舎建設について、市長の考えは。
市長 行政や防災などさまざまな拠点となる庁舎となるよう、幅広い観点から検討を行っていきます。



中澤 広行

高木市長親族農地に車 転用手続きせず

質問 現状の都市計画道路は行き止まりが多く、アクセスが悪い。将来を見据えた綿密な道路計画を。

市長 県道前橋伊香保線吉岡バイパスの延伸道路をはじめ、幹線道路の整備をしっかりと進めます。

質問 農地法は何のためにあるか。

農業委員会事務局長 農地の規制等により耕作者の地位安定と農業生産の増大を図ることが目的です。

質問 高木市長の自宅に隣接する親族所有の畑が駐車場になっており、プレハブ小屋も建っている。これは農地法違反ではないか。

市長 一時期計画的に休耕地としていたが、農地として耕作管理しており農地法違反ではありません。

質問 航空写真にも農地法違反の証拠が残っている。それでも市長は市民に対し、自分は農地法に違反しない、全く悪くないと言えるのか。模範となるべき市長がそれ

でいいのか。農地に車を停めてもプレハブを建ててもいいと。そういう渋川市でもいいのですか。

市長 農作業のため一時期車を停めたが農地として耕作しているのが農地法違反ではありません。判例でも休耕地は、農地となります。

転用手続きせず

質問 宅地を農地だと言いつつ、職員の何もない。不正を許さないといいつつ自ら不正をする。地目は畑でも課税評価は宅地扱い。なぜこれが農地法違反じゃないのか。渋川市はそれではないのか。

市長 課税については固定資産税評価員が調査して決めます。当該土地は、過去から農地であります。

市長 課税については固定資産税評価員が調査して決めます。当該土地は、過去から農地であります。



申請が必要なのではないか



角田 喜和

水道の基本使用水量料金の 引き下げを

質問 平成26年度に水道料金が合併後統一され、基本料金が上がった。基本使用水量に満たない多くの世帯から基本水量を引き下げてほしいとの要望がある。引き下げを検討すべき。

上下水道局長 経営に関する協議会で総体的な料金改定を検討しています。基本使用水量も他市料金体系等を参考にしつつ検討します。

スラグは産業廃棄物 市道のスラグ撤去を求める裁判で市はスラグは廃棄物と認めているにもかかわらず、控訴審で市に補助参加した大同特殊鋼(株)はスラグは廃棄物ではないと主張した。市は市と相反する大同特殊鋼(株)の主張をなぜ放置しているのか。

建設交通部長 平成14年4月から平成26年1月までの間に大同特殊鋼(株)が出荷した鉄鋼スラグは、群馬県が平成27年9月11日に廃棄物認定したと認識しています。

質問 控訴審において、大同特殊鋼(株)は、市と「市道上に存在するスラグは被覆措置をしたうえで撤

去しないことを合意済み」と主張している。市は約束したのか。
建設交通部長 鉄鋼スラグの対策は、対応方針に基づき、処理に関する基本協定により個別契約書の締結を行い対応しています。



このスラグの撤去費用は誰が持つのか

建設交通部長 撤去費用については、大同特殊鋼(株)との覚書締結により、大同特殊鋼(株)と協議を行い、負担を求めていくものであります。

一般質問



山内 崇仁

幼稚園の今後について

質問 公立幼稚園のこども園化に向けた市の動向は。

福祉部長 政策戦略会議などの場で教育部と連携して調整しています。民間施設も含め、施設定員と市内児童数を勘案し、設置類型など早急に検討してまいります。

質問 第四保育所は老朽化が進んでいるが、今後の方向性は。

福祉部長 園舎改築、施設改修、新築整備、民営化、統廃合などさまざまな方法を含め、今後のあり方について、関係者の意見を伺いながら検討を進めています。

空き家対策について

質問 昨年末に「空き家利活用推進」を目的に渋川市地域おこし協力隊を委嘱したが役割は。

総合政策部長 空き家の利活用促進の分野で委嘱しました。空き家の掘り起こしや賃貸借啓発活動、所有者と移住者のマッチング等で活動していただくこととなります。

質問 隊員との情報共有等が必要だが、取り組み状況は。

総合政策部長 1週間に1度市役所へ出向いていただき、そのほかにも現場確認等職員と同行し、情報共有を行っておりますが、共有不足とならないよう取り組みます。

質問 「渋川市空き家活用マッチング制度」が創設されたが、新規事業者は対象外か。

総合政策部長 空き家の抑制、地域活性化のため、空き家を地域資源として活用したいと考えた制度であります。要綱の中で収支決算書等必要書類を定めていますが、要綱改正を含め、検討を進めます。



かに石こども園
(令和2年度から認定こども園として開園)



田村なつ江

市民の命と暮らしを守る

北橋地区デマンドバス

質問 実証実験の実施結果から見込まれる事業効果は。

建設交通部長 北橋地区の移動需要特性に適していることが認められ、北橋地区の公共交通不便地域が解消されると考えます。

質問 交通弱者に対する今後の支援策の考えは。

市長 交通事業者の料金割引や福祉団体の買物支援、小売業者の移動販売等の取り組みと連携し、よりきめ細やかな支援策を講じます。

コロナ禍での健康づくり

質問 3回目ワクチン接種の実施状況と小児接種の進め方は。

スポーツ健康部長 2月から始まった追加接種は順調に進んでおり、小児についても対象者への周知を行い、接種が開始となっております。

質問 コロナ禍でフレイルの進行が懸念される。基礎的な体力の維持にラジオ体操の習慣化を。

スポーツ健康部長 習慣化に向け、今後は地域での自主的な体操会の設置を促していきたいと思っております。

若者の移住

質問 若者を呼び込むためのPRや新たな施策の考えは。

市長戦略部長 若者加算など子育て世代の移住支援策を充実させています。また、移住定住に関する情報を効果的に発信していきます。

国保あかぎ診療所

質問 診療所休止に係る説明会で出された意見に対する市の対応は。

総合政策部長 行政としてしっかりと受け止め、説明会翌日には庁内で共有を図るとともに、あり方検討委員会でも報告しました。



北橋地区デマンドバス



須田 勝

安心して暮らせる渋川

敷島駅前再生

質問 地域おこし協力隊が駅前再生事業を行うと聞くが、その内容は。また、再来年の敷島駅開業100周年に当たり、市の対応は。

総合政策部長 実行委員会が主催し、地域の魅力を再発見するイベントを開催することで移住定住者の増加を図り地域の活性化につなげるもので、市がサポートします。

自治会の在り方

質問 自治会運営の財源である資源ごみ回収報奨金の値上げを。また、報奨金から除外されているペットボトルも資源ごみ回収として扱えないか。自治会への交付金や行政事務委託料の引き上げを望む。

市民環境部長 金属類のみ報奨金を値上げします。ペットボトルは処理の都合上、同様に扱えません。

市長 現在も自治会への委託料は県内他市の中で最高額となっており現状維持でご理解いただきたい。

道路行政

質問 市道の傷み、亀裂、破損が増えている。計画的な補修を望む



にぎわう駅前イベント

が、舗装や補修の基本的な考えは。

建設交通部長 市道に関する要望は多いため、優先度等を考慮し、令和4年度では事業を拡充してさらなる進捗をよくを図ります。

職員改革

質問 職員のノー残業、ノー会議の推進や、自信を持ち仕事の能力が発揮できるよう希望課への配置の推進を望むが、考えは。

総務部長 ノー残業デー、ウェブ会議等による業務効率化と職員の能力を最大限に発揮できるよう適材適所の人員配置に努めています。



板倉 正和

持続可能なまち渋川を目指して

過疎地域持続的発展について

質問 渋川市過疎地域持続的発展計画を策定したが、過疎地域の課題解決の考えは。

総合政策部長 過疎指定された各地区の特性を生かした施策の展開により、地域課題を解決していきたい考えです。

質問 PR動画などを活用し、本市のイメージアップや移住定住につなげてはどうか。

市長戦略部長 地方移住に関心が寄せられている中、市の魅力や資源をしっかりと広報し、地域の活性化、イメージアップを図ります。

質問 小野上地区でのデマンドバス試行運行の今後の進め方について。

建設交通部長 現在実施している基礎調査の結果を基に、新年度当初、体験乗車モニターに協力いただき、走行試験運行を実施します。

質問 過疎地域における地域医療をどのように進めていくのか。

スポーツ健康部長 市民が安心して医療が受けられるよう受診の足



小野上地区の棚田

の確保など過疎地域における必要な対応について考えていきます。

質問 集落の整備、地域コミュニティの活性化など、過疎地域の将来像についての考えは。

市長 自然豊かな地域の魅力を発信し「過疎」を「適疎」と再評価していただく取り組みを進めます。

身近な生活道路の整備について
質問 生活道路整備に当たったの取り組みの流れは。

建設交通部長 自治会要望を基に計画し、説明会などで趣旨を理解いただいた後、整備しています。